

科目	学年・小学科	単位数
現代社会	1年・全学科	2
教科書	東京書籍「現代社会」	
副教材	浜島書店「ニュービジョン現社」	

1. 学習目標

価値観が多様化する現代社会を生き抜くために必要な基礎的な知識・教養・考え方を身に付けるとともに、日本人であることを立脚点として、グローバルな視点から世界情勢を分析する力を養う。また、人間としての理想の在り方や生き方の探求を通して、健全な人間形成をはかる。

2. 学習方法

○授業：教科書、資料集を使いながら板書、説明、必要に応じ演習プリント等を活用して進める。学習内容の確認と補足のため、問題プリントにも取組む。NIE教育のように、必要に応じ新聞の記事等を印刷して配付し、現代の政治・経済・社会情勢に関心を向けるとともに、メディア・リテラシーを身に付ける。また、適宜テーマを設定して、互いの意見を交換し、自分の考えをまとめる機会を設ける。

○予習：教科書や資料集を熟読し、次の授業に臨む。

○復習：授業で学習した基本的な用語や概念をノートで確認し、学習内容の定着化をはかる。

○課題：必要に応じ演習プリント等を課題として課す。

3. 評価の観点と趣旨

①	関心・意欲・態度	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などに関わる基本的な問題に関心を高め、意欲的に追求しているか。社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けているか。平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて、参加、協力する態度を身に付けているか。
②	思考・判断・表現	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などに関わる基本的な問題から課題を見出し、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。課題について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ、公正に判断するとともに、適切に表現しているか。
③	資料活用の技能	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などに関わる基本的な問題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。得られた資料や情報を効果的に活用しながら学ぶ姿勢を身に付けているか。
④	知識・理解	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などに関わる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身に付けているか。また、学び方を身に付けているか。

科目名	学年・小学科	単位数
現代社会	1年・全学科	2

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	第1部 わたしたちの生きる社会	テーマ1 地球環境問題 テーマ2 資源・エネルギー問題 テーマ3 科学技術の発達と生命 テーマ4 情報化の進展と生活	○	○				●各テーマにおける課題や問題点を明確にし、その解決に向けた具体策を考察できる。	授業態度 発問評価
	第2部 現代の社会と人間	第1章 現代社会と青年の生き方 青年期の発達課題 自己形成と社会のかかわり 進路と生きがいの創造	○	○				●現代の特質や課題について考察できる。 ●現代の青年の心理的特色を理解できる。 ●欲求と適応行動の関係について理解できる。 ●キャリア開発と生きがいについて理解できる。	提出課題 小テスト ノート 提定期考査
前期末	第2章 日本国憲法と民主政治	2 よりよく生きることを求めて 哲学と人間 宗教と人間 近代科学の考え方 人間の尊厳 人間性の回復を求めて 日本の伝統思想の考え方 外来思想の受容と日本人の自覚	○	○				●よりよく生きることを追求した先哲の思想を自ら思索しながら理解できる。 ●宗教の意義について理解できる。 ●近代の人間中心主義、合理的なものの考え方について理解できる。 ●主体性回復を追求した実存主義を考察できる。 ●日本の思想史を理解できる。	
		1 民主政治とは 民主政治の成立 基本的人権の確立 世界の政治体制			○	○		●社会契約説、権力分立の思想、議会制民主主義のしくみと意義について理解できる。 ●主要な国家の政治体制について理解できる。	
		2 日本国憲法の基本原理 日本国憲法と三つの原理 基本的人権の保障(1) 基本的人権の保障(2) 新しい人権と人権保障の広がり 平和主義と安全保障(1) 平和主義と安全保障(2)			○	○		●日本国憲法の三大原理について理解できる。 ●自由権について具体的に理解できる。 ●現代社会での社会権の意義を理解できる。 ●新しい人権の性格について理解できる。 ●平和主義と安全保障の関連について考察する。	
		3 日本の政治機構 国会と立法 内閣と行政 裁判所と司法 地方自治			○	○		●国会の役割と権限、二院制について理解する。 ●内閣の権限と国の行政組織について理解する。 ●司法権の独立と意義、裁判員制度を考察する。 ●民主政治における地方自治の意義を確認する。	
後期中間	第3章 現代の経済と国民福祉	4 現代政治の特質と課題 選挙のしくみと課題 政党と利益集団 世論と政治参加	○	○				●一票の格差など選挙制度の課題を考察する。 ●政党の現状と課題について考察する。 ●世論とマスメディアの関係について理解する。	
		第3章 現代社会と法 1 現代社会と法 法の働き 社会生活と法 司法と人権			○	○		●法の支配と立憲主義の意味について理解する。 ●社会生活における法の意義を理解できる。 ●日本の司法と人権の課題について考察する。	
		1 経済のしくみ 経済社会の変容 現代の企業 市場経済のしくみ 国民所得と経済成長 金融のしくみと働き 中央銀行の役割と金融の自由化 政府の役割と財政			○	○		●資本主義・社会主義・ケインズ理論を理解する。 ●株式会社の特色、企業の社会的責任を理解する。 ●寡占市場や市場の失敗について考察する。 ●GDPや国富、景気変動について学習する。 ●直接金融・間接金融、信用創造を理解できる。 ●金融政策、金融の自由化・国際化を理解する。 ●財政制度、租税と公債、財政問題を考察する。	
後期末	第5章 国際社会と人間の課題	2 変化する日本経済 戦後復興と高度経済成長 産業構造の転換と国際経済環境の変化 バブル後の日本経済 中小企業と農業			○	○		●高度経済成長の経過や背景について理解する。 ●プラザ合意と円高不況の相関性を理解する。 ●バブル経済と崩壊、失われた10年を理解する。 ●中小企業と農業の諸課題について考察する。	
		3 豊かな生活の実現 自立した消費者への道 労働者の権利 現代の雇用・労働問題 社会保障の役割 環境保全と循環型社会	○	○				●消費者の自立に向けた取り組みを考察する。 ●労働法制に基づいた労働者の権利を理解する。 ●労働や雇用にかかわる諸問題について考察する。 ●少子高齢社会における社会保障を考察する。 ●持続可能な社会、循環型社会について考察する。	
		1 国際政治のしくみと動向 国際社会の特質 国際紛争を避けるしくみ 国際連合と安全保障 国際連合の役割と課題 冷戦とその後の世界 軍縮への取り組み			○	○		●国家間の諸問題と外交、国際法を理解できる。 ●国連の設立としくみについて理解する。 ●国連の世界平和のための活動について理解する。 ●国連の経済的・社会的役割について理解する。 ●冷戦終結後の紛争と対立について理解する。 ●国連の軍縮に向けた取組と課題を考察する。	
後期末	第5章 国際社会と人間の課題	2 国際経済のしくみと動向 貿易と国際分業 外国為替のしくみと国際収支 戦後国際経済の枠組みとその変化 対立と協調の時代 グローバル化する経済			○	○		●企業の展開と国際分業の実態について理解する。 ●為替レートの変動要因と影響について理解する。 ●IMF-GATT体制の変容について理解できる。 ●国や地域間の貿易や経済連携、協定を理解する。 ●世界経済の安定化に向けた課題を理解する。	
		3 国際社会の現状と課題 地域統合の進展 変容する世界経済 国際的な格差の是正 地域紛争と難民問題 国境をこえて広がる地球規模の課題 日本の役割	○	○				●地域統合の進展の理由などについて考察する。 ●変容する世界経済について理解する。 ●南北問題の背景、格差の是正の取組を理解する。 ●民族紛争や難民問題について考察する。 ●地球規模で解決すべき課題について考察する。 ●日本の国際貢献について考察する。	